

あにわにわ 通信

第15号

「あにわにわ」とは、ニュージーランドのマオリ語で虹を意味しています。

2011.10.20

特定非営利活動法人あい・ぽーとステーション発行

代表理事：大日向 雅美・新澤 誠治

子育てひろば「あい・ぽーと」

住所：107-0062 東京都港区南青山 2-25-1
電話：03-5786-3250 FAX:03-5786-3256
E-mail: info@ai-port.jp
URL: <http://www.ai-port.jp>

全国版子育て・家族支援者養成講座事務局

住所：〒106-0031 東京都港区西麻布 2-24-25-509
電話：03-6657-8539 FAX:03-3499-8539
E-mail: station@ai-port.jp
URL: <http://www.ai-port.jp>

法人代表理事・恵泉女学園大学大学院教授

大日向雅美

三月の大震災以来、心の晴れることのない時間が流れて、気がつくともう秋。時の経つのは何と早いことでしょう。子育て・家族支援者の皆様におかれましては、震災直後の混乱の時も、そして今も、変わらず地域のために心を込めたご活動をいただいておりますこと、心から感謝申し上げます。

過日、六五歳以上の支援者の方々の面接をさせていただきました。本法人の認定では、これまで年齢の上限を決めずにまいりましたが、子どもの命を預かる活動でもありますので、他の事例を参考にし、一応、前記の年齢の方々に改めて日頃のご活動の様子等を伺わせていただく時間を設けさせていただいた次第です。皆様、快く面接に応じて下さいまして、本当に有難うございました。お一人おひとりが素晴らしい前向きな生き方をなさ

とりが素晴らしい前向きな生き方をなさつておられました。大事な活動に携わっていることを心にとめて、健康づくりに努めておられることは言うまでもありませんが、実に多方面に関心をお持ちになって、新たな学びを重ねておられるお姿に、敬服いたしました。輝くような笑顔にお会いできて、改めて時間の積み重ね方の大切さを教えていただいた思いであります。

あい・ぽーともお蔭様で8周年を迎えることができましたが、これからも支援者の皆さまを見習って、スタツフと心を合わせて、良い時間を重ねてまいりたいと願っております。



港区子ども家庭支援センター

所長 中島博子

あい・ぽーと創立8周年、おめでとうございませう。

近年、子どもを取り巻く環境は大きく変化し、様々な課題がある中、あい・ぽーとは、多彩な活動を取り入れ、常に子どもと親を支える真摯な視点で子育て支援に取り組まれ、港区としても多大なお力添えをいただき感謝申し上げます。

今夏、子育て・家族支援者認定式に参加した際、認定者の方々の子育て支援に対する熱い思いを感じました。その思いは、子どもや子育て家庭へのエールとなり、これからの地域の子育て力の向上につながるものと思われまふ。港区のすべての子育て家庭が安心して、楽しく子育てができ、子どもたちの笑顔があふれるまちづくりができるよう、今後ともあい・ぽーととスクラムを組んで、時代や地域のニーズを踏まえた子育て支援を推進してまいりたいと思ひます。



ふれあいフェスタ2011

あい・ぽーととパースデイ8周年

あい・ぽーとお誕生日イベントも今年で8回目。今回は、プロのカメフラマン(アート鈴木さん)による写真撮影&あい・ぽーとオリジナルフォトカードのプレゼントと、2階のホールをひろばとして開放し、おもちゃの病

院や子育て・家族支援者さんによる読み聞かせなどを行いました。

写真撮影では、館内や庭に撮影スポットをご用意して、お好きな場所で撮影した写真を、画家の蒲原元さんデザインのあい・ぽーとオリジナルフォトカードに入れてプレゼントいたしました。



2階のひろば開放では、子育て・家族支援者さんによる、大型絵本や、ピアノの弾き語り、パネルシアターなどが大好評だった他、おもちゃドクター結縁さんによるおもちゃの修理もあり、一日を通して大賑わいのホールとなりました。

当日は、多くの方々にお越しいただき、皆さんの笑顔あふれるあい・ぽーと8歳のパースデイとなりました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

「あい・ぽーとは、これからも皆様に喜んでいただけるプログラムを考えてまいります。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。



【バックアップ研修開講予定】

〈港区〉

十一月二日(水) 十時～十一時三十分
 内容 事例検討会 (二級・三級に分かれて実施)
 講師 大日向雅美
 (本法人代表理事・子育てひろば「あい・ぽーと」施設長)
 会場 子育てひろば「あい・ぽーと」

十二月一日(木)

④十五時～十六時 ⑤十六時～十七時
 内容 腰痛・肩こりに効くストレッチ&ティラミス
 講師 飯作佳美(劇団四季出身・ダンサー)
 会場 子育てひろば「あい・ぽーと」

※ 各回、先着順(定員二十五名)での受付となっております。④はすでに定員に達し、キャンセル待ちとなっております。⑤のほうに、まだ若干余裕があります。

〈千代田区〉

十一月十四日(月) 九時～十三時

内容 普通救命講習(二級講座に参加)
 講師 財団法人東京救急協会 救急救命士
 会場 神田消防署

※ 有料(一四〇〇円〔実費〕)の研修となります。現在、開講中の二級講座を受講されている方は、講座に含まれていますので、バックアップ研修としてはカウントされませんのでご了承ください。

十二月二十日(火) 十時三十分～十二時

内容 絵本の選び方
 講師 宮崎亜古
 (千代田区立千代田図書館学校支援チーフ)
 会場 千代田区役所四〇四会議室

二〇一二年

一月十九日(木) 十四時～十五時三十分
 内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言
 講師 新澤誠治(本法人代表理事)
 会場 千代田区役所四〇四会議室

〈浦安市〉

一般・家庭的保育者

十一月三十日(水) 十時三十分～十二時
 十三時～十四時三十分

内容 発達障害
 講師 三隅輝見子
 (横浜市リハビリテーションセンター発達支援部療育課長)
 会場 未定

十二月十九日(月) 十時三十分～十二時

内容 子育て支援で疲れた身体をストレッチしよう
 ～バレエストレッチ～
 講師 岸川章子(新国立劇場バレエ団)
 会場 未定

児童育成クラブ指導員コース

十二月七日(水) 十時～十一時三十分

内容 活動状況報告及び課題解決に向けた助言
 講師 野中賢治
 (財団法人児童健全育成推進財団企画調査室長)
 会場 健康センター 第一会議室

【子育て・家族支援者養成講座情報】

現在、港区、千代田区、浦安市は二級講座。高浜市では、家庭的保育事業ガイドラインに沿った家庭的保育の実施に向け、基礎研修を開講しております。毎週、各地でたくさんの方の受講生にご参加頂き、講義が行われております。

【港区】3級Ⅺ期 開講決定!

来春、港区で、3級講座Ⅺ期開講されます。今回より、「保育士資格試験受験バックアップコース」も新設いたします。保育士志望の方、奮ってご応募ください。

〈期間〉2012年1月20日(金)～3月23日(金)
 〈申込〉郵送か FAX で申込用紙をお送り下さい。

2011年12月16日(金)必着

【お問い合わせ・資料請求】
 子育てひろば「あい・ぽーと」担当:池田
 TEL 03-5786-3250 FAX 03-5786-3256
 URL <http://www.aiport.jp/>

【全国自治体職員向け研修】

前号でもご案内いたしました、全国自治体職員向け研修について、プログラムの概要が決まりましたので左記の通りご案内いたします。

今年度は「東日本大震災をきっかけとした子どもの視点からの復興・まちづくりについて考える」をテーマにして、子ども環境学会・港区と協力し、街づくり論、建築・心理・保育等の各領域との学際的な観点からの研修を行います。そして行政担当者・研究者・企業・NPO等市民団体・被災地との連携の促進を図ることを目指します。

午前中は基調講演・シンポジウム。午後は分科会と子ども参加のワークショップを予定しております。

分科会は、四つに分かれて、午前の基調講演・シンポジウムに登場頂く講師の先生方や事例発表予定の千葉市・港区の担当者を囲みながら、さらに議論を深める会を計画しております。また、子どもの視点を重視する今回は、被災地と港区の子どもたちも参加し、共に議論を深めていくことも予定しております。

被災地をはじめ、各自治体で子育て支援を担当している行政職の方々、復興支援に高い関心をお持ちの各地の子育て・子ども支援関係者を対象としております。子育て・家族支援者の皆さまのご参加もお待ちしております。

正式なプログラム・申込方法等は、近日中にあい・ぽーとステーションのホームページに掲載予定です。

あい・ぽーとステーション 全国自治体職員向け研修 助成:住友生命保険相互会社 協力・後援:こども環境学会・港区

日時:2012年1月14日(土) 10時～16時半
 場所:港区立青山小学校

〈テーマ〉

東日本大震災をきっかけとした子どもの視点からの復興・まちづくりについて考える

～午前の部～

基調講演&シンポジウム:

(登壇予定者)

仙田 満 (こども環境学会代表理事/放送大学教授)
 神野 直彦 (東京大学名誉教授/政府特命調査会専門委員会委員長)
 小澤 紀美子 (こども環境学会会長/東海大学教授)
 汐見 稔幸 (あい・ぽーとステーション理事/こども環境学会副会長・白梅学園大学学長)
 大日向 雅美 (あい・ぽーとステーション代表理事・恵泉女学園大学大学院教授)

～午後の部～

分科会

- ① 「子どもの参画とまちづくり ～子どもにやさしいまち～」
- ② 「農(いのち)から考える持続可能なまちづくり」
- ③ 「子ども・子育て新システム」に対応したまちづくり」
- ④ 「国際化と高層化と地域づくり」

子ども参加ワークショップ

分科会と並行して、被災地の子どもと港区の小学生(5年生)・中学生(2年生)が、子どもの視点で考える街づくりについてのワークショップを行います。



子どもを想う ～ファンタジー&自然に遊び、被災地を想う～

協力：住友生命保険相互会社 企画・運営：NPO法人あい・ぽーとステーション

午前の部 (10:00～12:00)

- 10:25 オープニングミニコンサート
- 10:30 ご挨拶
- 10:40 音楽絵本「こぐまの夢 (第1部)」
- 11:00 復興支援プロジェクト活動報告
- 11:20 音楽絵本「こぐまの夢 (第2部)」
- 11:35 育児専門家による子育てメッセージ (第1部)

(12:00 終了)

午後の部 (13:30～16:00)

- 13:00 開場
- 13:25 ミニコンサート
- 13:30 育児専門家による子育てメッセージ (第2部)
- 14:40 音楽絵本「こぐまの夢 (第3部)」
- 14:55 復興支援プロジェクト活動報告 (第2部)
- 15:10 子どもと森へ出かけてみれば
- 15:50 フィナーレ

(16:00 終了)

音楽絵本「こぐまの夢」

こぐまさんの夢の世界へ

今回の音楽絵本は、「こぐまの夢」というテーマで3部に分け、こぐまさんが夢で見たことをみんなでお手伝いしながら、再現していきました。ピアノは、鈴木香代子さん。バイオリンは、御船あずみさん。チェロは、浦川麗さんに演奏していただきました。絵本創作とライブペイントは蒲原元さんでした。

こぐまさんの1つ目の夢は…まるさんかくしかくの図柄でした。皆でリトミックをしながら絵本に貼っていきました。それがライブペイントでまたたくまに動物の絵に変身。まるがライオンさんになったり、しかくがぞうさんになったりしました。

2つ目の夢は…お姫様がバレエを踊っています。みんなと一緒に演奏にあわせて2拍子3拍子のリズム遊びをしました。

3つ目の夢は…遊園地に行った夢でした。みんなでお空にお星さまをいっぱい貼りました。

みんながこぐまさんの夢の実現をお手伝いしてくれたおかげで、とても素敵な夢になりました。ありがとうございました。



子どもと森へ出かけてみれば

小西 貴士 (写真家&保育士)

自然に遊ぶ子どもたちの

スライドショー

小西貴士さんは、保育士で写真家。八ヶ岳南麓、標高 1,400M の清里高原に広がる森と野原で「キープ森のようちえん♪」を中心に子どもたちとくずほぐれつながら、「森で育つ子どもたち」の姿をカメラにおさめておられます。

その中の何枚かの写真とことばを紹介していただきました。

自然の植物や動物にふれながら遊ぶ子どもの姿がとても表情豊かで、生き生きとしている様子が、写真から伝わってきました。

とても心温まるスライドショーでした。



育児専門家による子育てメッセージ

大日向 雅美・汐見 稔幸・新澤 誠治・小西 行郎・榊原 洋一

先生方の子ども時代の写真を拝見しながら、子ども時代のお話をお伺いしました。小さい頃にしていた習い事や、ごきょうだいのお話など、楽しいエピソードで会場が盛り上がりました。また会場から出た質問の一つ一つに丁寧にお答えいただく時間もあって、楽しくも盛りだくさんな時でした。



復興支援プロジェクト活動報告

澤登 早苗 (恵泉女学園大学大学院教授)

住友生命保険相互会社「未来を築く子育てプロジェクトの東日本大震災緊急支援プログラム」の助成を受け、恵泉女学園大学澤登ゼミが南三陸と福島へ支援に行きました。パワーポイントを使って南三陸と福島で行った支援を写真などで報告していただきました。

また、Seed letter を会場の皆さんにお配りし、メッセージを書いていただきました。Seed letter と一緒にルッコラの種を付けて家に持ち帰って育てていただく。そして、種ができたらいい・ぽーとへ持ってきていただくことをお願いしました。ルッコラを育てることを通じ、循環型で支援するという企画は素晴らしいと思いました。

皆さんからいただいたメッセージを宮城へお届けしました。



3月11日に発生した東日本大震災は、未曾有の被害をもたらしました。私達は、これからも被災地の方々のことを「忘れない」「常に想いつづけたい」と思います。これまで4回に亘って、住友生命保険相互会社の助成を受けて本キッズフェスタに参加をさせていただいてまいりました。今年は、これまでの集大成の意味を込めて、参加者全員で「子どもと被災地を想うフォーラム」を開催いたしました。

音楽に合わせてバレエやリトミック、画家による即興の絵本創りを通して、子どもを中心としたファンタジーの世界へ。次に本法人の理事で、さまざまなメディアを通し育児相談等で活躍している心理学者・教育学者・小児科医らが、自身の子ども時代を振り返りながら、会場の皆さんの育児相談をお受けするコーナーへ。続いて、住友生命保険相互会社「未来を築く子どもプロジェクト」の復興緊急支援助成を受けたグループによる「被災地の子どもたちを想う」活動の報告を。最後は、自然の中で戯れる子どもの姿と映像を通して、子どもの育ちを見守り、自然の神秘を味わう・・・と、子どもを大切にする一日を参加者の皆様と共に過ごしました。